

国際標準のものづくり規格 幾何特性仕様 (GPS)



2009 年制作

本体価格

全 1 巻 **28,000 円**
(テキスト 1 冊付)

追加テキスト 1 冊
1,500 円

●監修

桑田 浩志 (桑田設計標準化研究所)
磯野 宏秋 (職業能力開発総合大学校)

●ご覧いただきたい方

設計者、製図者、CAD オペレータ指導者、
学校・大学・企業の教育担当者

次世代のものづくりにおいて、製品の高精度化への要求に応えることは不可欠です。こうした中で、設計分野の国際標準化が鋭意進められております。特に、表面性状、幾何公差、測定機器、図面指示などに関する規格を体系化した「幾何特性仕様 (GPS)」方式は規格改正が進められ普及しつつあります。

図面情報のグローバル化に伴い、今後、正式に GPS が国際標準化されれば、欧米を始め諸外国との取引の中でも、本方式に則った設計図が要求されることとなります。

このような背景を踏まえ、本ソフトでは、設計に携わる方々が GPS への理解を深め、モノづくりの基本である図面情報の正確な伝達ができるよう、わかりやすく解説しています。

全 1 巻 [44 分]

1. はじめに
2. 表面性状の測定
3. 幾何公差と寸法公差との関係
4. 普通公差
5. 幾何公差の検証方法
6. 独立の原則を適用しない例 位置度公差方式
7. 独立の原則を適用しない例 最大実体公差方式
8. 独立の原則を適用しない例 包絡の条件